

諏訪地方の経済概況速報

平成26年3月

(平成26年2月末調査)

平成26年3月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 1月】	諏訪公共職業安定所管内	0.97 倍	0.24 ポイント	
手形交換高【 2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,887 枚	△743 枚	
	金 額	6,415 百万円	△1,854 百万円	
	うち不渡り	枚 数	2 枚	△11 枚
	発生状況	金 額	12,500 千円	1,422 千円
電力使用量【 2月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	77,585 MWh	△1.4 %	
	高圧電力計	105,077 MWh	6.4 %	
	合 計	182,662 MWh	3.0 %	
車庫証明取扱件数【 2月】(諏訪地方合計)		977 件	4.4 %	
新設住宅着工戸数【H25.4月～26.1月】(諏訪管内)		1,225 戸	28.0 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

諏訪地方の 2 月は、長野地方気象台観測史上最大となった降雪・積雪が、さまざまな方面に影響を及ぼした。交通網の乱れが長引いて物流や客足が停滞し、休業を余儀なくされる企業も出た。岳麓を中心に大きな農業被害があり、製造業では企業が材料調達や出荷に苦慮し、商業では店舗への客足が遠のいた。除雪に迫られた建設業は工期遅れへの懸念が出ている。トップシーズンで集客を見込んでいたスキー場や宿泊施設でもキャンセルが相次いだ。消費増税前の駆け込み需要が見られる時期に、自然災害が直撃して混乱を招いた。

●製造業 「一時的生産遅れがあるものの、自動車部品関連は堅調に推移」

大雪による物流の停滞で一時的な生産遅れがあった。大雪以外では自動車部品など輸送用機械関連は、取引先の海外生産の流れで自社の海外法人の比率が高まっている企業もあるが、総体的に海外需要の安定と駆け込み需要で受注は堅調に推移している。4 月以降は、極端な落ち込みはないと予想する企業と楽観視できないという企業があり、見方が分かれている。金属部品加工は、企業によって業況はまちまちだが、自動車部品関連は好調な企業が多い。工作機械や専用機は、受注増への対応などで土曜日や休日出勤で対応する企業もあるが、海外メーカーとの競合もあり、企業によって業況は異なる。半導体関連の受注状況は改善傾向となっている。電気機械は取引先によって明暗はあるが、駆け込み需要対応で受注が増加している企業もある。精密機械はレンズ加工業界全体の受注量が伸び悩む中で、高難度な加工技術を要する受注は見積りの引き合いが多い。

●商業 「大雪時には客足減少したが、駆け込み意識が高まる」

大雪時は通行止めの影響で配送が滞り、パンやめん類など品薄商品が出て客足も遠のいた。半面、保存が効く冷凍食品などの売上は伸びた。除雪用品も売り切れた店舗が多い。中旬過ぎから増

税前のまとめ買いの動きが見られ、新生活用品や日用消耗品の売上が伸びている。衣料は、従来より時期を前倒した品揃えがあり、夏物も売れ始めている。自動車販売は、諏訪地方の2月の車庫証明件数(軽自動車除く)が977件と、前年同月比で41件増加(4.4%)した。前月比では24件減少(△2.4%)した。駆け込み需要は旺盛だが、大雪で客足が鈍り、月間販売目標に達しなかった店舗もある。増税対策として3月までの営業時間を延ばしたり、割引券を配布する企業がある。

●観光・サービス業 「出足好調だったスキー場や宿泊施設大雪でつまづく」

上諏訪温泉の2月の宿泊人数は、前年同月比で大幅減少し、単月では平成8年以降最低となった。大雪による交通機関の乱れで予約キャンセルが相次ぐ一方、足止めの宿泊客もあり、当初の予約人数に対する実質宿泊者数は2月総体で25%程度減少した。交通網遮断は大雪以降の予約状況にも影響を及ぼした。諏訪地方のスキー場は、トンネル事故があった前年同期に比べ出足は順調だったが、つまづいた形となった。中央道や国道、アクセス道路が通行止めとなり、ゲレンデの状態は良くては開店休業状態になった。蓼科・白樺湖・富士見方面の宿泊施設もキャンセルが相次ぎ、厳しい月となった。諏訪大社の参拝者数も昨年より大幅に減少した。

●建設業 「新設住宅着工戸数の伸びは鈍化。累計では増加」

市町村の2月の発注工事は建築工事1件、土木工事・下水道工事33件、その他工事8件の合計42件443百万円で、前年同月比で件数は6件、契約金額は81百万円(15.5%)の減少となった。また、県関係の2月の公共工事(地元業者受注分)は17件、518百万円だった。平成25年4月～平成26年2月の累計契約は160件5,326百万円で、前年同期累計比で件数は35件減少したものの、契約金額は1,591百万円(42.6%)増加した。

民間工事は、諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数が93戸で、前年同月比31戸の減少(△25.0%)となり、伸びが鈍化しているが、平成25年4月～平成26年1月の累計は1,225戸で、前年同期累計比で268戸、28.0%の増加となっている。雪の影響で3月末完成予定の新築物件が間に合わなくなったケースもある。

●雇用 「有効求人倍率8ヶ月連続前年同期上回る」

諏訪地域の1月の有効求人倍率は、前年同月を0.24ポイント上回り、前月より0.01ポイント下回る0.97倍となった。前年同月比では8ヶ月連続上回っている。長野県は1.01倍、全国は1.04倍と1倍台を超えている。新規求人(全数)は1,511人で前年同月比242人増加(19.1%)した。要因別では「欠員補充」が増加し、「業務量拡大」「継続する人員不足」「創業・新分野展開」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、製造業で95.2%、飲食店・宿泊業で24.8%増加し、建設業で15.6%減少した。求人意欲は多くの産業で増加傾向だが、非正規が多く、求人増が就職に結びつかない状況もある。新規求職者数は1,132人で、前年同月比12人減少(△1.0%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は54人で、前年同月比124人、前月より17人それぞれ減少した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板 プリンター	引き合いが増え、セラミックスを主体に好調となった企業がある。 まとまった受注がある企業があり、総体的に動きが出てきているが、4月以降反動を懸念する声もある。
コンタクター・ リレー	安定した受注状況が続く。4月以降は不透明だが、反動の影響は大きくないとの見方もある。

2. 輸送用機械

自動車	北米や中国向けなどで自動車部品は安定しているが、コストダウン要請は続き、利益確保が難しい面もある。海外生産の流れがあり、国内を主体にしていた企業が、海外を視野に入れる動きもある。
ピストンリング・ シリンダーライナー	米国向けなどが好調で、海外工場で生産が追いつかない物を国内で対応している。
船外機	北米向けレジャー用船舶の4サイクルエンジンが増加傾向で、新興国向け2サイクルも比較的安定している。

3. 一般機械

工作機械・専用機	大手を中心とした回復基調の中で、堅調に推移する企業の一方で、今後の回復は予想するが、まだ数字に表れていない企業もありまちまち。
搬送用機械	増税関連の前倒し受注もあり堅調。今後もある程度同様に推移する見込み。
金型	総体的に横這い。自動車やバルブ関連には動きがある。
ダイカスト	企業によってまちまちで、先行きの見通しは見方が分かれる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの1月の生産台数は295万台で、前月比7.4%の減少、前年同月比では38.7%の減少となった。1月の出荷台数は国内出荷51万台、海外出荷243万台の合計294万台で、前月比24.2%減少、前年同月比は37.6%減少となっている。スマホの普及で低価格のコンパクトの需要は減少。一眼レフやミラーレスなどのレンズ交換式も需要は一巡しつつあり、13年は出荷量が減少した。
レンズ	レンズ加工業界全体の受注量は伸び悩むが、高難度な加工技術を要する受注は見積もりの引き合いは多い。ライフルスコープなど新規企業からの受注で一定量を確保している企業もある。

5. 織 維

ニット

高級品の受注増が続いている。原材料、燃料高の課題も続く。

6. 食 品

寒天

大雪によるパイプハウスの損壊などの被害があり、生産が遅れている業者もある。生産量が落ち、出荷できない製品もあった。

味噌

ビニールやダンボールなどの資材価格上昇が、収益を圧迫する状況が続いている。

7. 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工戸数は85戸で、前年同月比12戸増加した。外材の高値が続いている。

8. 建 設

公共工事

2月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所11件、林道治山工事関係2件、農地整備課3件、国関係1件の合計17件で、契約金額は518百万円だった。平成25年4月～平成26年2月の累計では160件、5,326百万円となり、前年同期累計比では件数で35件減少、契約金額では1,591百万円の増(42.6%)となっている。

市町村の2月の発注工事は、建築工事1件12百万円、土木工事及び下水道工事33件245百万円、その他工事8件186百万円の合計42件443百万円で、前年同月比で件数は6件、契約金額は81百万円減少した。代人や大工などの職人不足が続く状況に大雪が重なり、工期が遅れているケースもある。

民間工事

諏訪地方の1月の新設住宅着工戸数は93戸で、前年同月比で31戸の減少(△25.0%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は同数の63戸、「貸家」は30戸減少の27戸、「分譲」は同数の3戸となった。平成25年4月～平成26年1月の累計は1,225戸で、前年同期累計比268戸、28.0%の増加となった。積雪量が特に多かった富士見、原の建設業者は国道、県道、村道の除雪対応で繁忙を極め、不眠不休の作業が続いた。このため、通常の仕事が棚上げとなり、年度末を控えて工期を間に合わせることや機材、外注、人のやりくりが難しい状況だった。

長野県内の1月の新設住宅着工戸数は926戸で、前年同月比22.6%の増加となっている。前年同月比の利用関係別では、「持家」が581戸で19.3%増加、「貸家」は212戸で8.2%増加、「分譲」は129戸で118.6%増加となった。

9. 商業

衣料	従来の新生活用品に加え、夏物の礼服やスーツなども売れ始めている。消費者には購入点数を増やす意識も見られる。
食料品	交通機関の乱れで配送車が届かず、スーパーやコンビニなどでは品薄状態に陥った。カット野菜、洋菓子、惣菜など様々な商品が不足した。
家電製品	パソコンはXP廃止に伴う買い替え需要があるが、ピークは越えたもよう。家電部品は冷蔵庫や洗濯機など駆け込み需要が増加してきている。3月まで続く見込み。
自動車	県内の2月の新車新規登録台数は登録車が6ヶ月連続、軽自動車は8ヶ月連続で増加している。全体では前年同月比 2,202 台増加(22.2%)の12,113 台で、6ヶ月連続増加している。
ホームセンター	除雪用品のほか、インテリア、カーペットなど新生活用品の動きが早く、洗剤や紙製品など日用消耗品のまとめ買いで客単価が上がった。

10. 観光

上諏訪温泉	大雪の影響で延泊よりキャンセルが多く、2月の宿泊者数は総体的に、前年同月の60%台～80%台の施設が多い。
蓼科・白樺湖・車山等	宿泊客が大幅減少した施設がほとんど。スキー場は毎年冬季の売上がピークとなる2月に痛手を受けた。
下諏訪温泉	交通事情悪化でキャンセル続出。復旧後もキャンセルが続いた。地元の宴会も中止が多く、キャンセル客のほとんどが再復活しなかった。
諏訪大社	上社・下社合わせた2月の参拝者数は約2万2千人で、前年同月比では約1万4千人、39.7%の減少となった。

●企業からのコメント

- ・ ベースアップは夢のまた夢。給料を上げろという風潮があるが、中小企業は、いまだそれどころではない(一般機械製造業)。
- ・ 大雪で物流が止まり、山梨方面からの受注が滞り、予定した売上を下回った。(金属製品製造業)。
- ・ 大雪の影響はあったが、消費者の衝動買い、買いだめがあり、売上が増加した。客単価も大幅に増加した(小売業)。
- ・ 在庫が少なくなってきたところへ大雪で物流がストップした。雪の影響で3月末完成予定の新築物件が間に合わなくなった(建設業)。
- ・ 大雪で県外のスクール団体や一般客が訪れず、毎年冬季の売上のピークとなる2月に、前年比大幅減少した(スキー場)。